

職員や利用者の「ありがとう」が 業務のやりがいに



楠田 恵太 [くすだ・けいた]

介護老人保健施設ふれあいの里好寿苑（大阪府）

はじめに

私は、住宅設備会社での製造業務や病院の清掃業務を経て、2014年に当施設の介護助手の仕事に就きました。前職である清掃業務の会社を退職したのち、同じような仕事を探していたところに、私の地元の病院であり、当施設の母体でもある堺フジタ病院の清掃業務の求人を見て病院に問い合わせました。ただ、そのときには病院では求人はしていなかったようで、その代わりに紹介していただいたのが、「ふれあいの里好寿苑」でした。

介護施設がどのようなところか知らなかったので、一度見学させてもらい、雰囲気よかったので、ここならよさそうだと思いますと決めました。そこから気づけば、まる11年が経ちました。

昨年には、勤続10年ということで、大阪介護老人保健施設協会から表彰されました。

施設概要

当施設の母体の堺フジタ病院は、一般病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟があり計87床を有します。1970年、大阪府堺市に前身である藤田外科病院が設立され、1991年に改称し堺フジタ病院となり、2002年に認知症グループホーム、2006年に当施設を開設しました。

当施設は、大阪府のなかでも自然豊かな南河内と呼ばれる地域の大阪狭山市にあります。入所定員100名、通所定員20名、訪問リハビリも行っている超強化型老健施設です。

大阪狭山市は難波に30分、梅田に45分など、大阪中央部へのアクセスがよく、緑が多いのんびりとしたベッドタウンです。飛鳥時代につくられたという日

本最古のダム式ため池である狭山池が有名です。周囲には公園や桜並木があり、春にはお花見、夏は花火とグルメ、冬はイルミネーションと、季節に応じたおまつりが開催されるなど市民の憩いの場となっています。高齢化率は28.0%（2022年現在）で緩やかに上昇していますが、近隣の市と比較すると、高齢化率は低い傾向にあります。

当施設は、大きな公園やリス園、植物園などがある市民ふれあいの里に隣接しているため、自然に囲まれた静かでとてもよい環境です。子どもたちが遊ぶ様子もよく見えるこの環境を気に入ってくださるご利用者やご家族が多いようです。母体病院が隣の堺市にあることもあって、市外からのご利用者も多くいらっしゃいます。

業務について

私がこの仕事を始めた2014年当時から、介護助手は10名程度在籍していました。藤田耕三前理事長が、介護の専門業務と周辺業務を分けて、周辺業務を介護助手が担うことで、介護職員は専門業務に専念してもらおうということを考えられていたようです。現在も、私を含め、13名の介護助手が働いています。私ともう1人男性がおり、女性が圧倒的に多いのですが、皆さん元気に楽しく働かれています。

私は、月曜日、火曜日、木曜日、土曜日、日曜日の週5日、10時半～19時半の8時間勤務をしています。

当施設は、比較的自立度が高いご利用者と、介護度の高いご利用者が入所するフロアが分かれており、介護職も介護助手もフロアごとに担当が決まっています。私は現在、介護度の高い方が入所されているフロアの担当をしています。